「世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する

"Global Kawasaki"

川崎重工グループは、世界を取り巻く社会課題に対し、 多様で高度な技術力を駆使して課題解決に貢献することにより、 新たな価値を創造し続けます。

川崎重工グループの経営資源 グローバルな生産体制 設備投資... 主要製造拠点 日本 グローバルな 社会課題 研究開発費 ●グローバル化に伴う 移動・輸送の活発化 ●環境リスクの高まり 従業員数. ●新興国:社会インフラ の不足 Kawasaki ブランド ●先進国:高齢化・労働 人口の減少 エネルギー使用量 (熱量換算合計) 原材料(鋼材)素材 としての購入量

カワサキバリュー 10,230億円 (重きを置く価値:戦略・施策立案の立脚点) 多様なお客様の要望にこたえる 製造資本 テクノロジーの頂点を目指す 独自性・革新性を追求する 704億円 事業ポートフォリオ 19か所 21か所 システム X 知的資本 ● 120年を超える経験・ノウハウ ●広範な領域における高度な技術力 ●広範な技術力 526億円 事業間シナジー 精密機械 ロボット 人的資本 ーターサイク! &エンジン 最高品質を追求する技術集団 **36.332**_{\(\)} 社会/関係資本 価値創造のドライバー ●長年蓄積された取引先との信頼 中期経営計画「中計 2019」 (2019~2021年度) 自然資本(単体) Kawasaki-ROIC経営 .**6.348**™ **11**万t 事業活動を支える基盤(ESGへの取り組み) (2019年度実績)

事業活動と戦略

時代をリードする画期的な製品・サービスの提供 主な製品 4.2% 税引前 ROIC* 4.0% ROE. (2019年度実績) 28.5万t-co₂ 事業活動によるCO2排出量(単体) 2.313.8万t-co₂ 製品貢献によるCO2排出量の削減効果(単体) (2019年度実績) * ROIC: Return On Invested Capital 事業を投下した資本に対して、どれだけの利益を上げているのかを図る指標 創出価値およびステークホルダーへの価値配分(億円) お取引先 13.584 事業コスト(従業員、社会、政府・行政を除く) 従業員 2,493 給与および賞与など 提供価値(売上高) 16,413 -社会 7 社会貢献支出額 - 政府・行政 105 法人税・住民税および事業税 提供価値から、お取引先、従業員、 社会、政府・行政を控除した額 企業内部など 128 債権者 36 株主 58 支払配当額 利益剰余金当期増加額 (2019年度実績)

主なアウトプット

陸・海・空における 安心・安全、クリーン、 快適な移動・輸送手段の提供 クリーンエネルギーの創出 新興国を中心とした 社会インフラの充実

創出する社会価値

外部環境とリスク

産業構造の変化

●技術革新 ● AI、IoTの進化

気候変動

●地球温暖化 ●大規模災害

為替の変動

●海外売上高比率が高く収益に影響

経済動向

設備投資による影響パンデミックの影響

自動化による

高齢化・労働力不足への対応

10 Kawasaki Report 2020 Kawasaki Report 2020